「ゆら社長のジレンマ」－意思決定シミュレーション教材－

ＮＰＯ法人企業教育研究会

■ 授業の概要

本授業はアクセンチュア株式会社と NPO 法人企業教育研究会が共同で開発中の授業です。授業では架空の会社の経営課題の解決に生徒が取り組み、そのファシリテーターとしてアクセンチュア株式会社の社員が参加します。

企業が蓄積したコミュニケーションスキルや、多様性を受け入れる態度、自分らしさの発信について授業を通して学習し、将来的に活躍できる人材の育成を目的とします。

■対象学年、教科、時間

対象学年：中学校１～3 年生

教科：社会科（公民）、道徳、総合的な学習の時間、キャリア教育

時間：2 コマ（50 分×2）

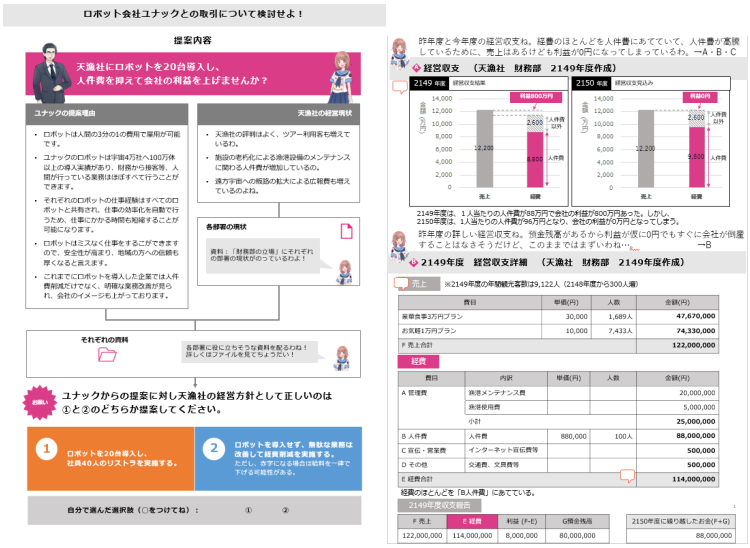
■ 授業の手法

架空の会社についてアニメーション動画を用いて説明します.画面のキャラクターより、本時で検討する経営課題についての説明や動機づけがあります。また、生徒の経営判断によって会社の未来が変動します。授業では、生徒は会社の部署ごとに分かれて、議論を行い、最終的に会社の経営方針を決定します。その際に、各班にはアクセンチュア株式会社の社員が１名ずつ入り、議論の進行をサポートします。

使用するアニメーション

■ 授業展開案（100 分展開 50 分×2 コマ）

時間	活動	準備物等
15 分	１．導入・活動の準備 ・自己紹介、本時のねらいについて説明 ・授業で架空の経営課題の解決に取り組んでもらうことを伝え、OP の動画を視聴。 ・課題となる動画を視聴。 課題①：ロボットを導入し、人件費を削減するために人のリストラを実施するべきか、否か。 課題②：「水の都・虹が崎市」として街を開発するか、「レトロな虹が崎市」の街並みを維持するか 課題③：自由な働き方をやめて規制を厳しくするか、自由な働き方を変えずに客数を制限するか	・講義用ＰＣ ・プロジェクター ・ワークシート

60 分 （15 分）	２．議論 ・部署内議論 各部署に配られた資料を基に会社がどのような経営判断をするべきか部署内で議論する。  議論で使用するワークシート、資料 ・部署間交流 部署ごとの議論のあと、生徒は他の部署（班）のメンバーと意見を交換し、課題や会社に対する理解を深める。 ・部署内議論・経営判断 再び各班で議論を行い、最終的に各部署で決めた結論を「経営企画部」に提示。経営企画部は各部署の意見を聞いたうえで会社としての経営判断を行う。	・講義用 PC ・ワークシート ・ホワイトボード
15 分	３．結果の視聴と講評 ・生徒が選んだ経営方針に対し、会社の未来を動画で視聴する。 結果については、一定の確率で内容が変動。 ・生徒の議論や、今回の課題のとらえ方をアクセンチュア株式会社の社員より講評いただく。	講義用 PC
10 分	４．講義・まとめ ・実際の会社で起こりうる課題や、その時の判断についてアクセンチュア株式会社の社員より説明。 ・生徒が今後の成長の中で学んでほしいことを伝える。	・講義用ＰＣ